

令和7年度 長崎大学教育学部附属小学校 学校だより

「らしさ」輝く附属小



第27号 令和7年12月19日(金) 校長 森内 秀学

故郷のよさを味で伝える～Kids シェフ～

「長崎のよさ」と聞かれて「おいしい伝統野菜があるところです！」と答える人が増えてほしい…。そんな思いから始まった6年生の総合的な学習。伝統野菜のおいしさをよりよく伝えるため、自分たちでコース料理のレシピを考え、フレンチの巨匠 三國清三シェフをお招きした、特別授業を行いました。その名も Kids シェフ(右)。プロのアドバイスをいただいたおかげで、長崎の食材の味がより引き立ち、一層、故郷長崎に誇りをもてた様子でした。インターネットで検索すると、各局で流していただいた当日の様子が動画で見られます。ぜひ、御覧ください。



ヴォーカル・アンサンブル・フェスティバル

12/14(日)に純心大学で行われた標記の会に、本校合唱団が参加しました(左)。この日は「世界合唱の日」だそうで、小・中・高・大・一般の、計30団体が参加していました。

演奏したのは、詩人である工藤直子さん作詞の「ほほう！」という曲。

ひだりの耳を すませば 遠い遠い 昔の音が きこえる
若い地球の わかい海で はじめて いのちが生まれた 「ぴちっ」
なんとも哲学的な歌詞から始まります。合唱というと歌声ばかりに注目しがちですが、歌詞に注目するのも面白いかもしれませんね。

長崎の食で生産・消費・教育をつなぐ

「地域の食から育むプラネタリーヘルス」と題した国際シンポジウムが、12/14(日)に長崎大学で行われました(右)。セッションⅡ【長崎からの発信】で登場したのは、本校栄養教諭の一瀬美奈先生。総合的な学習とタイアップして取り組んできた、長崎の伝統野菜を広める取組について話をしました。大勢の聴衆の中には、保護者の方に連れられた子どもたちがたくさん。終わってから「難しかったろう?」と声を掛けると、「分かったよ!」と笑顔で答えていました。一瀬先生が大切にしている言葉は、「食べることは生きること」。私たちも、大切に、楽しく食べて、人生を豊かにしていきましょう!

